水俣・芦北地域戦略プラットフォーム
第21回地域戦略検討会のお知らせ
（第36回課題検討会）

産廃計画跡地にメガソーラー？
―自然資源は誰のものか―

葦北町矢城に建設中のメガソーラー発電所（坂本龍虹氏撮影）

かつて産業廃棄物最終処分場の建設計画があった水俣市長崎・湯出の山林に、大規模な公園化と太陽光発電施設（メガソーラー）の計画があることが分かった。4日夜、土地を所有する熊本市の経営コンサルティング会社、ユニオンネット（林信夫社長）が地元住民への説明会を開いた。[熊本日日新聞朝刊：2013年12月6日]

私たちは、この「産廃計画跡地にメガソーラー」に対してどう向き合うべきなのでしょうか。まずは情報を持ち寄って共有しながら、特に「地域の自然資源を地域でいかに生かしていくのか」ということを意識して、その方向性を探っていきたいと思います。皆さまのご参加をお待ちしております。

話題提供 **坂本龍虹さん** 水俣の暮らしを守る・みんなの会
山下善寛さん 水俣の暮らしを守る・みんなの会
藤本寿子さん ガイアみなまた

コーディネート **宮北隆志** 熊本学園大学 水俣学現地研究センター長

日時 2014年2月3日（月）19:00～21:00

場所 熊本学園大学 **水俣学現地研究センター**
水俣市浜町2-7-13（水俣市公民館裏、婦人会館向かい） TEL・FAX 0966-63-5030

「水俣・芦北地域戦略プラットフォーム」世話人会・事務局
熊本学園大学水俣学研究センター　藤本延啓

「水俣・芦北地域戦略プラットフォーム」とは

「負の遺産」としての水俣病事件をベースに、人間としての生き方、日々の暮らし、地域社会（教育、環境、福祉、経済、政治など）のあり様を問い直そうとする市民、NPO、研究者、民間事業者、行政職員など多様な関係者の〝出会いの場、学習の場、討議の場〟であり、また、〝新たな価値（生活文化）を創造する「場」〟として位置づけられた舞台（プラットフォーム）です。

熊本学園大学
KUMAMOTO GAKUEN UNIVERSITY